

平成24年度 鳥取市総合企画委員会（議事概要）

- 日 時 平成25年2月21日（木）9時00分～11時10分
- 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 全員協議会室
- 出席委員 井上 学、佐々木紀久子、佐々木ちよ子、沢田陽子、福山裕正、福島 明、藤縄匡伸、藤沼康実、細井和江、道上正規（委員長）、森原昌人、森本坦子（12名）（五十音順、敬称略）
- 欠席委員 尾崎直美、谷口節次、渡邊勘治郎（副委員長）（3名）（五十音順、敬称略）
- 鳥 取 市 市長、副市長ほか各部長（監・局長）、行財政改革課（事務局）

1 開会（行財政改革課 河村次長）

ただ今から、平成24年度 鳥取市総合企画委員会を開催します。本委員会の鳥取市総合企画委員会条例第6条第2項に「委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。」と規定がありますが、本日は全15名中12名の委員にご出席いただいております。今回の会議が成立していることを報告します。尾崎委員、谷口委員、渡邊委員は所用のため欠席と伺っています。開会にあたり、竹内市長がご挨拶申し上げます。

2 市長あいさつ（竹内市長）

- ・ご多忙中にも関わらず本委員会にご出席いただきありがとうございます。
- ・この委員会は、5カ年の鳥取市総合計画を策定して、進捗管理をしていただくことが大きな内容となっています。今日は、平成24年度の取組みをご報告し、また、全体の計画がどのように進んでいるのか協議をさせていただきます。
- ・報告事項として、市政の重要なテーマである市庁舎整備の取組みのほか、鳥取市で新たな取組みとして、全国都市緑化とっとりフェアの開催、鳥取自動車道の全線の開通について、ご説明し皆さんからいろいろとご意見をいただきたいと思っております。
- ・平成24年度は、平成23年度から始まった総合計画の2年目が終了し、平成25年度は中間の3年目となりますが、後期の実施計画の策定をこれから取組む予定にしており、策定方針についても審議をしていただきたい。
- ・今、鳥取市は高速道路が開通して、発展していく大事な時期だと思っています。産業振興、雇用の面では厳しい状況が続いていますが、引き続き地元産業の振興と企業誘致を通じて雇用の場を確保し、しっかりと対処したいと思っています。
- ・人口が減少し、特に若い世代が流出する状況が続いており、働く場がある環境をしっかりと作っていき、現下の厳しい雇用情勢とそれに対処することが大きな課題となっています。
- ・若者の定住では、鳥取環境大学が平成24年4月に公立大学法人化となり、平成25年

4月の入学者の入試は4倍の志願倍率となっており、約300人程度の学生は確保できる見込みです。合わせて、高校卒業後3年間の専門学校の間際に当たる、看護師の養成機関を鳥取市に誘致する取組みも着実に進めています。

- ・鳥取自動車道開通を活かした取組みとしては、4月20日からの第6期展示の砂の美術館の準備を進めているほか、全国都市緑化とっとりフェアの開催、エンジン02など観光、文化に関わる取組みも積極的に考えています。
- ・平成25年度は重要な年だと考えており、長く議論が続いている庁舎問題の方向付けを今年の6月末を目途に実施していきたいと考えています。これには執行部と議会の連携のもとで、専門家委員会の検討や市民の意向も踏まえて決めていきたいと思っています。
- ・本市の平成24年度、平成25年度の取組みについてご紹介させていただき、冒頭のあいさついたします。本日の総合企画委員会での審議を、どうぞよろしく申し上げます。

3 委員長あいさつ（道上委員長）

- ・おはようございます、雪の降る中、お集まりいただきありがとうございます。
- ・今日の会議では、平成23年度にスタートした第9次鳥取市総合計画の平成24年度の進捗状況について進行管理などのチェックを皆さんにお願いしたいと考えています。
- ・この他、平成25年度から始める後期の実施計画策定方針についても議論していただきます。
- ・また、庁舎整備などの市の重要な課題について市より説明していただくほか、少し明るい兆しを感じられつつある雇用の問題について、皆さんからチェックと同時にご審議をしていただき、後期の実施計画に活かしていきたいと思えます。
- ・今日は、どうぞよろしく申し上げます。

4 議事

○行財政改革課 河村次長

ありがとうございました。それではこれから議事に入らせていただきます。委員会条例により、委員長が議長を務めることとなっており、これ以降の議事の進行については、道上委員長にお願いします。

○道上委員長

それでは、これより議事に入ります。まずは、報告事項について、市庁舎整備から順次説明をお願いします。

(1) 報告事項について

①鳥取市庁舎整備について

○事務局説明（庁舎整備局 亀屋局長）

別添配付資料に基づき説明（略）

○道上委員長

ご質問があればどうぞ、無ければ次の報告事項に移ります。

②第30回全国都市緑化とっとりフェアの開催について

○事務局説明（都市整備部 大島部長）

別添配付資料に基づき説明（略）

○道上委員長

ご質問があればどうぞ、無ければ次の報告事項に移ります。

③鳥取自動車道の全線開通について

○事務局説明（都市整備部 藤井次長）

別添配付資料に基づき説明（略）

○道上委員長

ご質問があればどうぞ、無ければ報告事項はこれで終わり協議事項に移ります。

（2）協議事項

①第9次鳥取市総合計画の進行管理について

・平成24年度の主な取組み、平成24年度の成果目標等の達成状況について

○事務局説明（行財政改革課 吉村参事）

資料（P1～P4）に基づいて説明（略）

○竹内市長

ここで退席させていただきますが、先ほど報告事項で申し上げた市の主な取組みや総合計画に基づく取組み状況について、いろいろなご意見をいただき市の取組みにプラスになるようにさせていただきます。

○道上委員長

ここで一区切りをしたいと思います。今の事務局の説明を解説させていただくと、総合計画を強力に引っ張っていくものとして、6つのリーディングプロジェクトがあり、それぞれ平成24年度の主な取組みを説明していただきました。また、3ページの成果目標の達成状況の説明では、基本方針、基本計画、実施計画にそれぞれ数値目標が設定されており、施策別に達成状況をまとめたのが4ページの棒グラフとなっています。詳細については、この後、事務局より説明をしていただきますが、「安全な消費生活の確保」などは達成状況が高い施策となっている状況です。そういう見方で皆さんにはいろいろと考えていただきたいと思います。それでは、続けて事務局の説明をお願いします。

○事務局説明（行財政改革課 吉村参事）

別紙1、別紙2に基づいて説明（略）

○道上委員長

ただ今、平成24年度の主な取組み、指標の達成状況の説明をいただきました。まず、4ページの施策別の成果目標の図を見ていただくと進捗状況が分かりやすく、またリーディングプロジェクトの内容については1ページ、2ページに記載されています。見る視点としては、基本計画の成果目標のグラフの中では、「安全な消費生活の確保」という施策は達成率が216.8%と高くなっており進捗状況は良いと言えますが、「生活基盤の充実」の達成率の低くなっています。委員の皆さんの感覚に合っているのか、市民目線でご意見をいただきたいと思います。

○森原委員

資料2ページのリーディングプロジェクトの中の「打って出る」大作戦プロジェクトについて、砂の美術館の入場者が50万人を超えたということは喜ばしいことだと思いますが、民間との連携、新たなグッズの販売などの効果はどうだったのか。もう1点は、マンガを活かした文化振興について、鳥取県全体で世界マンガ博を行ったが、鳥取市の場合、谷口ジローさんを活用したマンガ振興策をどう成果分析をしているのか。

○武田経済観光部長

砂の美術館の経済効果について、先日マスコミに発表をしたところですが、116億5千万円と試算しています。実際にお越しいただいた方にアンケート調査を行った結果を元に計算したもので、直接的な経済効果は59億2千万円、間接的な経済効果は57億3千万円となっています。次に、民間の事業者とのコラボレーションによっていろいろなグッズ等の展開についてですが、同じ敷地内にあるサンドパルに売店を設けており、例えば、砂チョコ、焼酎の「砂人」、イタリアからの輸入ワインのほか、砂の美術館のオリジナルではないが砂を使ったモアイ像はかなり人気があり売り上げが伸びていると聞いています。今後もそういったものを増やしていきたいと考えています。

また、マンガの関係ですが、谷口ジロー先生の作品をもとに様々なイベントを行ったほか、フランス映画「遙かな町へ」に字幕をつけて上映したほかDVD化して全国に向けて販売するようにしています。谷口先生に審査委員長になっていただいた、公募ストーリーによる漫画を10作品決定し、今年、実際に鳥取市出身の漫画家により漫画にさせていただくよう取組みます。中央図書館では、郷土出身の漫画を収集、展示をしていますが、マンガを活かした鳥取力向上チーム会議を開いて、その席上で、もっと資料を収集して展示していくという話があったので、さらに充実していくものと考えています。わらべ館でも、引き続き展示をするほか、鳥取環境大学での特別講義も平成25年度も実施されると伺っており、今後もマンガを活かした取組みを着実にしていくこととしています。

○道上委員長

砂の美術館の経済波及116億円とあったが、市から投資したコスト、人件費はどうだったのか説明をお願いします。

○武田経済観光部長

人件費はなかなか出せませんが、砂像の制作費、施設を管理運営する指定管理料などの経費は1億9千2百万円、また、建物は起債で建てておりその償還金は1年分で2千3百万円、あわせて2億1千5百万円程度となります。来ていただいた方が、鳥取市内、東部地域に宿泊、飲食、お土産などに使っていただいたお金、その他派生する間接的な波及経済効果ですが、砂の美術館の入館料は、2億7千万円程度見込んでいます。2億1千5百万円程度の単年度の直接的な経費に対して、入館料だけで2億7千万円程度となっており経営上では黒字となっています。

○道上委員長

市役所だけでとらえると2億7千万円の効果があり、全体としては116億円とかなりの波及効果をあげているようです。その他、ご意見はありませんか。

○藤沼委員

資料の4ページの活動指標の達成率のグラフの中で、「地方分権の推進」という施策では、達成率が200%となっています。別紙2の1ページを見ると、国等への提言活動の年度目標1件に対して、たまたま平成24年度は4件活動したことで400%となっています。これを数値で表すより、小学校の評価のように大変よくできたとか頑張りましょうというレベルであり、200%という数字を出す意味がここにあるのかどうか。全体的に目標値をここに出すことは結構だが、この4ページに数値を出すのであれば、違う達成の表現をした方がより適切ではないかと思えます。

○吉村参事

ご指摘ありがとうございます。事務局がチェックをする中で指標の設定で疑問のあるものがあります。今後は、担当部署と打ち合わせをしながら指標の設定について、後期実施計画の策定と合わせ取り掛かりたいと考えています。

○道上委員長

このグラフの部分にコメントを入れることで機能するのではないか、その当たりを考えていただきたい。また、今は9次総の中間的なとりまとめであるが、最後のまとめの時には、もっとしっかりとしたものにするべきであると思えます。

○福島委員

別紙2の20ページ、148番に国民健康保険料徴収事務事業について、口座振替の加入率は、目標に対して達成率は102%とあるが、徴収率は少しずつ落ちてきて、それが国保財政に影響して大変になるのではないかと推測しています。国保の口座振替の加入率のアップだけでなく、この他具体的な考えがあれば説明をお願いしたい。

○羽場総務部長

徴収の取組みを進める中で、なかなか従来から徴収率がアップしない状況にある。平成24年度より人員を増やすなど徴収体制の強化を行っています。今年1月末現在で徴収率は75.79%、昨年は70.75%と対前年比5.04ポイント上がっています。今年度から税と一体的な取組みとして、目に見える効果が出てきており、年度末に向け

て取組んでいきたい。また、来年度以降もこれらを踏まえて更なる徴収体制の強化をして、国民健康保険料の徴収に取り組んでいきたいと考えています。

○井上福祉保健部長

国保会計の徴収では、収入を上げるために元気を出しています。歳出面では、健康づくりをはじめ特定健診の受診率を上げていこうと、昨年度から無料受診できるクーポン券を、40歳から70歳までの5歳刻みで新たに出しています。全国的に特定健診の受診率が低い中で、本市の受診率は28.1%と昨年と比べると約5ポイント上がっています。目標の65%に対して達成率は43.2%と低いが、その中でも少しであるがポイントをあげ、特定健診を受けていただき、早期発見、早期治療をして重篤化しないことをめざしています。こういった両面から国保会計を進めているところです。以前は、一般会計から一般財源を国保会計に回していたり、県から借り入れをしたことがありましたが、平成24年度は、単年度では黒字の方向も見えてきています。また、平成25年度は、国保料を値上げしない運営できる見込みである。

○道上委員長

国保会計は、特別会計だと思うが、その資料は市民に公表しているのか。

○井上福祉保健部長

決算の状況について、年1回ではあるが市報に掲載し公表しています。ただ、国保運営協議会に諮問をするなど保険料の相談をしているが、報道機関は、値上げの時には報道されるが安定的に運営している時はあまり報道されていない状況にあります。

○道上委員長

報道機関に頼るだけではなく、市報にわかりやすい資料を出すべきだと思います。この他、ご意見はありませんか。

○井上委員

別紙1の5ページの51番の「市民との協働による身近な公園の芝生化数」について、先ほど地域とのコンセンサスがとれないと実行に移せないと説明がありました。ただ、目標を36箇所と掲げている中で、実績は10箇所となっています。数値で目標を掲げた時に、どう達成するのか、どう広報をしていたのか教えていただきたい。

○大島都市整備部長

募集のかけ方ですが、都市環境課から各公園の管理者や公園愛護会、関係者に向けて募集をかけて、希望のあったところから熟度、順序を勘案して目標を定めています。常に募集体制にあり、協働による芝生化のマニュアルを作り配付したり、どこがネックなのか把握するためのアンケートを実施し、それを取り除くための改善策に努めながら、応募を増やす取組みも並行して進めているところです。

○井上委員

維持管理、装備備品の問題が解消できるように、あとは随時、アンケートをしながら呼びかけをしていると理解しました。ただ、公園に限らず芝生化をなぜするのか、特に大

人は分かりにくいと思います。部署が違うかもしれないが、芝生化をするという目的を考えた時に、公園か園庭か校庭かは関係ないと思います。芝生化により、子どもや地域の人が集うことで、子どもたちの健全育成に繋がってくると思うので、垣根を越えた取組みを期待しています。

あと1点、別紙1の5ページ、58番の「移住・定住人口累計」で平成24年度実績で895人となっていますが、移住してきた多い地域、その理由について教えていただきたい。移住してきたその後の暮らし向き、満足しているのか、不満を抱えているのか、後悔しているのか、改善すべき点などがあれば教えていただきたい。

○大島都市整備部長

芝生化について、市役所の内部では、保育所なども含めて芝生化推進本部を設けて取組んでいます。助言いただいた点は今後、活用、検討していきたいと考えています。

○西尾中山間地域振興課課長補佐

京阪神からの移住者がトータル的には多くなっており、移住された方の6から7割が市街地に、中山間地域の新市域に3から4割の方が住んでいます。被災者の方の住んでいる状況については、ふるさと友愛会の総会に参加してご意見をいただいているところです。避難者については、2月17日に交流会が開かれ意見交換がなされています。

○藤縄委員

資料の1、2ページに平成24年度の実績状況について、第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに分けて掲載されていますが、例えば、「1ふるさとを大切にす
る心豊かな人づくりプロジェクト」の「モラルやマナー・ルールを大切にする風土（人）
づくり事業の推進」が、別紙1と2の達成状況の表と、どのようにリンクしているのか、
理解がしにくい。可能であれば、わかりやすいまとめ方をお願いします。

○吉村参事

総合計画の体系図を見ていただくとリーディングプロジェクトは、施策を縦申しにした
もので複数の施策にまたがっていることから、今日の資料は、分かりにくい作り方にな
っています。次回からは、より分かりやすくなるように努力したいと思います。

○道上委員長

この部分は、計画を立てる時にいろいろと議論があったところで、横申し、縦申しによ
り重複する部分があったと思いますが、皆さんが分かりやすい資料としてください。

○佐々木ちる子委員

別紙1の3ページ、男女共同参画社会の形成の「女性の審議会委員登用率」は、達成率
が88.6%と高くなっていますが、別紙2の104から106の指標では低いですが、こ
れは、平成27年度には100%に近い数値までめざすのかお尋ねします。

○野際人権推進課長補佐

別紙1の3ページ、男女共同参画社会の形成の「女性の審議会委員登用率」と、別紙2
の「女性リーダーとしての女性人材バンク登録者数」などの指標について、いずれも平

成27年度には100%をめざしています。

○道上委員長

この数値目標の達成率は、今年度の単年度の達成度を示しているものではないのか。

○野際人権推進課長補佐

年度単位での達成率を示しています。先ほど、別紙2の「女性リーダーとしての鳥取市女性人材バンク登録者数」の達成率が55%と低い理由として、ピーアール不足に原因があると説明したところですが、これを反省材料として次年度以降は達成できるようにしたいと考えています。

○佐々木ちる子委員

指標の「女性リーダーとしての鳥取市女性人材バンク登録者数」の達成率が50%程度ということは、この人材バンクに登録する人が少ないということですが、1回登録したらそのままではなく、新しく登録する方の窓口を広くしていただくともっと達成率が上がると思います。

○道上委員長

広報などについてもいろいろあると思うので、事務局でしっかりと考えていただきたい。時間の都合で、今年度の進捗状況についてはここで終わりにして、次の第9次鳥取市総合計画後期実施計画策定方針に移ります。

②第9次鳥取市総合計画「後期実施計画策定方針」について

○道上委員長

第9次鳥取市総合計画「後期実施計画策定方針」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（行財政改革課 吉村参事）

資料（P5～P7）に基づいて説明（略）

○道上委員長

この後期計画は平成25年度中に作成するということですが、我々の任期はいつまでなのか、また、我々の責任で後期計画を策定するものなのか説明をお願いします。

○吉村参事

皆さんの任期は、平成24年2月21日から平成26年2月20日までとなっているので、この委員会において、前期計画の総括と後期計画を策定していただきたいと思います。

○道上委員長

前期計画の総括、後期計画の策定については、我々の責任だということですので、今後は、事務局よりたたき台を作っていただき、引き続き議論をしていきたいと思います。

5 その他

○道上委員長

その他について、何かあれば事務局より説明をお願いします。

○河村次長

平成25年度の当初予算について説明をさせていただきます。

別添資料に基づいて説明（略）

○道上委員長

ご意見があると思いますが時間が限られており、今日は終了としたいと思います。

6 閉会

○河村次長

これで委員会を終了します、ありがとうございました。